

## 【スタッフから】

このワールドキャンプも去年にひきつづき 2 回目を迎えることができました。

昨年以上に充実したものとするために、企画の段階で“キャンプに一貫したテーマを持たせよう！”ということで準備、検討を重ねました。そこで今年は、会場である南葉高原キャンプ場を水不足に悩む国という設定にしました。その住民である子どもたちは問題を克服するべく困難に立ち向かうというシナリオで、雨乞いのアイテムを手に入れるため、子どもたちがそれぞれの国へ行き、その文化を体験して初めて手中に収めることができるというゲームに仕立てました。子どもたちの願いを込める雨乞いのグッズは、アボリジニーアートのストーンペインティングとインディアン風のレインスティックです。願いがかなった後は、みんなで水に感謝しながらアメリカのウォーターバルーンで思い切り体を動かし、そしてキャンプ最後の食事もしょうめんを胃袋を満たして盛り上がりました。

アイスブレイキングの段階で外国人スタッフとの会話も恥ずかしそうにしていた子どもたちも、終盤にはあちこちで楽しそうに歓談している姿を見かけました。いろいろな国の人と交流して、新しい発見をし、新しい考え方に出会い、彼らなりにそれらを吸収したことでしょう。これからの生活に活かしていってくれることを期待します。

至らない点等多々あったことと思いますが、天候にも恵まれ、参加者・スタッフともに大きな怪我や熱中症もなく無事終了することができたことに感謝です。来年もまた南葉高原キャンプ場でお会いできることを楽しみにしています。

最後に、準備から当日まで多くの方々のお力添えをいただきました。心より感謝を申し上げます。

